

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 2月 8日

事業所名 アスラボさばえ

	チェック項目	どちらともいえない		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		壁を上手く仕切りとして利用し活動毎にエリア分けを行っている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		指導員を加配し安全に療育出来るよう配慮している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	事業所が2Fであるため階段に手すりを付けずベリ留め用のマットを設置している。事業所内は、段差のない作りとなっている。	インターフォンを設置しているので、昇降が難しい場合はスタッフが下まで降りて対応を行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼、終礼時には必ず支援の内容の振り返りや改善点を確認し情報の共有を図っている。 HUG(Web支援ツール)等を使用し振り返りを行っている。 始業時に毎回目標の確認を行っているので、支援の際に意識でき	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果は職員で共有し今後のさらにより良い支援が行えるよう業務改善に役立てていきたい
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今回が開所後初の自己評価となる。集計結果はHPやHUG等を通じ公開していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後第3者（相談支援事業所、他事業所など）からの評価について、評価結果の分析を行っていく。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		HUGで開催されるWebでの研修を随時受講している。更に福井県が開催する研修にも積極的参加をしその内容を全職員に情報共有している。 個人的希望すれば研修の機会を与えてくれる。	今後も研修等積極的に受講できる機会を作っていく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントの内容と行動チェック表さらに脳バランスの結果を基に課題整理表を作成し、一人ひとりの特性を評価して、支援計画の作成を行っている。	
	# 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		WISC-IVの結果表や脳バランスの他、アセスメント時に保護者の方にご記入いただいている・行動チェックシート、視覚チェックシートを使用しより丁寧に状況把握を行うようにしている。	
	# 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各プログラムの担当者が大筋を決め細かい改善点は全員で意見を出し合い決定している。	
	# 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員それぞれが、Web研修や療育についての情報収集を行い定例会議や事業所内研修の中で意見交換を行っている。	
	# 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		曜日ごとの課題やプログラムについては、土曜日と火曜日に個別療育を行い、それぞれの特性に合わせてじっくり療育を行う時間を設けている。また、土曜日は、平日に時間を取る事が難しい集団活動の時間を設け他児とのかかわりの中でSSTを学べるように工夫し	今後長期休暇に向けて課題の設定やプログラムの策定に注力していく。
	# 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の特性に合わせて個別で対応する部分、集団で療育を行った方が良い部分を整理し、保護者の方にご説明を行ったうえで、支援方法を決定している。	
	# 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時にはそれぞれのお子様の支援目標を確認し、どんな点に気を付けて支援をおこなっていくか、どの職員が担当をするのか確認を行っている。	
	# 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		出席者一人ずつについて主に担当した職員からその日の様子を伝えてもらい、情報の共有を図ると共に、ケア記録や学習記録をつけ、いつでも確認が出来るようにしている。	
	# 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		WEB支援ツール（HUGシステム）を使用しており記録を正確にとれるようにしている。	
# 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員だけでなく相談支援員の方のモニタリングを踏まえ支援計画お見直しを検討している。		
# ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		学習支援、SST、ライフスキル、感覚統合等、複数の活動を組み合わせさせて支援を行っている。		
# 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が行っている		

関係機関や保護者との連携	#	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎がないため、学校側との連絡はあまり行っていないが、保護者を通じて学校の予定確認・学校での様子の共有している。保護者の方とは連絡帳ツールを利用し密に連絡を取り情報の共有を行っている。	今後、相談支援事業所等とも協力し、学校連携を通じて、情報の共有を図ってきたい。
	#	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	#	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者や相談支援事業所を通じて、生活歴の確認などを行うことで、就学前に支援状況について情報の共有を行っている。	今後、保育所・幼稚園・こども園・児童発達支援事業所等との連携を図り、情報共有を行ってきたい。
	#	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在、障害福祉サービス事業所を利用予定の利用者はいない。今後必要が出てきた場合は連携を行っていく。
	#	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		Webでの研修や、専門機関の研修をうけている。	今後、さらなる連携を図っていく。
	#	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			コロナ禍のため交流できていないが、今後交流の機会が持てるよう検討していく。
	#	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			長期にわたって支援を行っていくためには、今後、協議会への参加の機会を検討していく。
	#	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳ツールを使い情報の共有を図っているほか、定期的に面談を行うなどして状況の把握を行っている。	
保護者への説明責任等	#	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			個別療育の中で行っているビジョントレーニング方法やアンガーマネジメント方法等を自宅でも取り入れられるよう保護者の方へもお伝えしていく予定である。ペアレントトレーニング等について、今後HPや保護者向けマイページを用いて情報発信を行っていく。
	#	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	
	#	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や連絡帳ツールでお話を伺う他、必要に応じて面談時間を設け支援を行っている。	
	#	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			現在、保護者会はなく保護者同士の連携の機会はほとんどない。今後利用者の方が増えたら保護者会の設置を検討する。
	#	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口を設置し、契約時に説明を行っている。また、苦情窓口の案内を入口ドアに掲示している。	
	#	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		マイページの活動記録で情報を配信している。	
	#	個人情報に十分注意している	○			
	#	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	#	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナ禍のため地域住民と交流する機会を設けられていない。今後、交流の機会なども検討していく。
	#	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルの掲示をしている。職員に対して研修を行う他、今後保護者の方へも面談時等にお伝えし周知をしていく。
	#	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			開所後間もないため、まだ実施していないが、年2回4月、10月に避難訓練を予定している。
	#	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修の案内を行い積極的に参加する機会を設けている。	
	#	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	○		契約時及び支援計画説明サイン時に説明を行うと共に、支援計画の中にも記載をしている。	
	#	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギー等の確認は行っているが、現在、食事、おやつを提供をしておらず対応の必要がない。
#	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			今後、ヒヤリハットの事例について、事例集を作成し、研修などで共有を図っていく。	